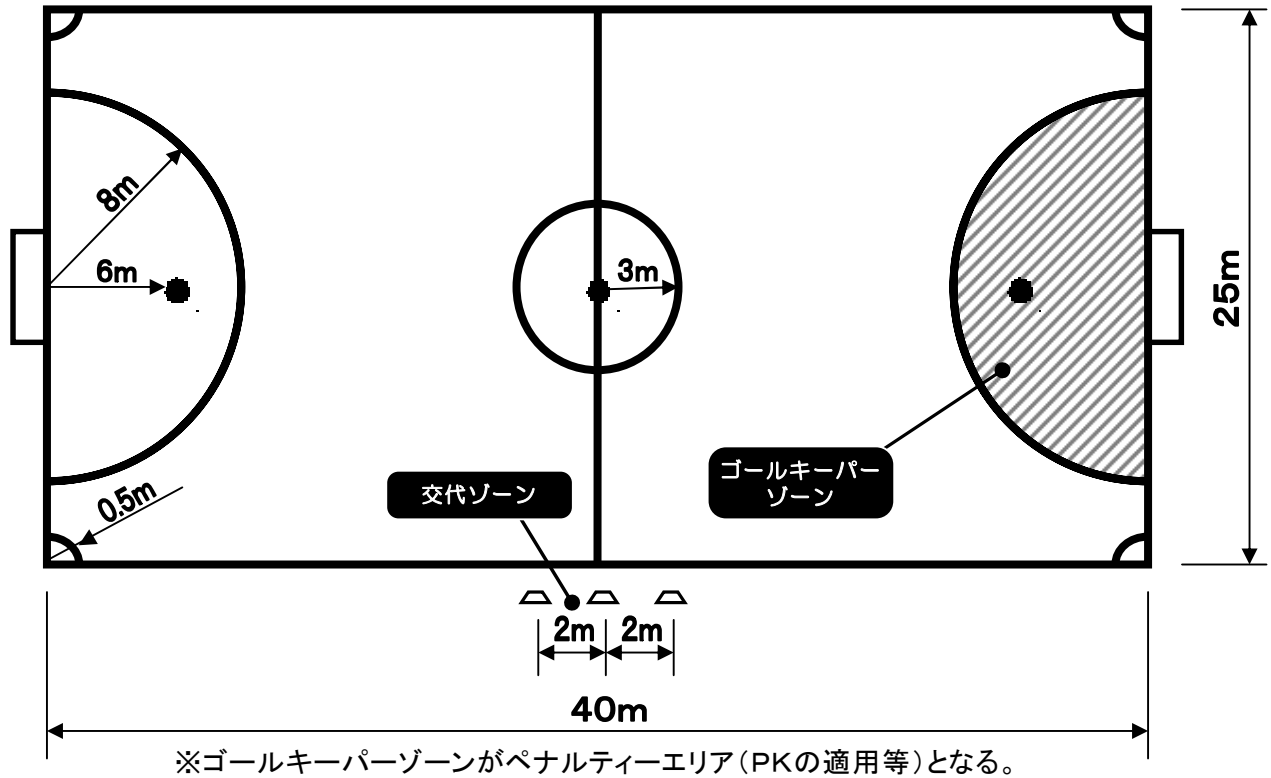


ドリームカップ1年生(7人制)大会特別ルール

1. フィールド



2. 競技者の数 7人制、交代自由、再出場可

(1) 7人(うち1人はゴールキーパー)とする。ただし、最低出場者を5人とし、一方のチームが7人に満たない場合は、両チーム指導者の話し合いにより、できる限り同数とする。

(2) 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
- ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- ④ 交代して退いた競技者も、その試合に再び参加することができる。

※ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。

3. 試合時間 12分-5分-12分

(1) 前、後半それぞれ12分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。ただし、アディショナルタイムは追加しない。

(2) 順位決定戦および決勝トーナメントのみ、PK方式(3人制)により勝者を決定する。

4. プレーの開始および再開

キックオフから直接得点することはできない。直接相手ゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる。

5. フリーキックおよびコーナーキック

- (1) ボールがインプレーになるまで、相手競技者は5m以上ボールから離れなければならない。
- (2) ゴールキーパーゾーン内で与えられた間接フリーキックは、違反の起きた地点に最も近いゴールキーパーゾーンのライン上で行わなければならない。

6. スローイン 2回まで

1度目のファールスローについては、主審が正しいスローインの方法について競技者に説明し、再度スローインを実施させる。ただし、続けて2度目のファールスローがあった場合は、相手にスローインが与えられる。

7. ゴールキック スローイング（キャッチング後も）

- (1) ゴールキックは、ゴールキーパーゾーン内からのスローイングにより再開する。ただし、ゴールキーパー以外の選手によるゴールキック(スローイング)は認めない。
- (2) (1)の方法により試合が再開されるまで、相手競技者はゴールキーパーゾーン内に入ってはならない。
- (3) (1)の方法により試合が再開され、ゴールキーパーゾーンからボールが出るまでは、ゴールキーパー以外の競技者はボールに触れることはできない。ゴールキック(スローイング)を行うゴールキーパー以外の競技者が先にボールに触れた場合は、(1)により再度ゴールキック(スローイング)から再開させる。
- (4) ゴールキーパーによるキャッチング後においても、(1)から(3)と同様に行う。
- (5) ゴールキーパーがキャッチング後にキッキングを行った場合は、主審が正しい方法について競技者に説明し、ゴールキーパーによるスローイングから再開させる。

8. オフサイド なし

オフサイドの反則は適用しない。

9. その他

このルールに制定されていない事項については、サッカー競技規則を準用することとし、なお疑義が生ずる場合は本部の判断による。